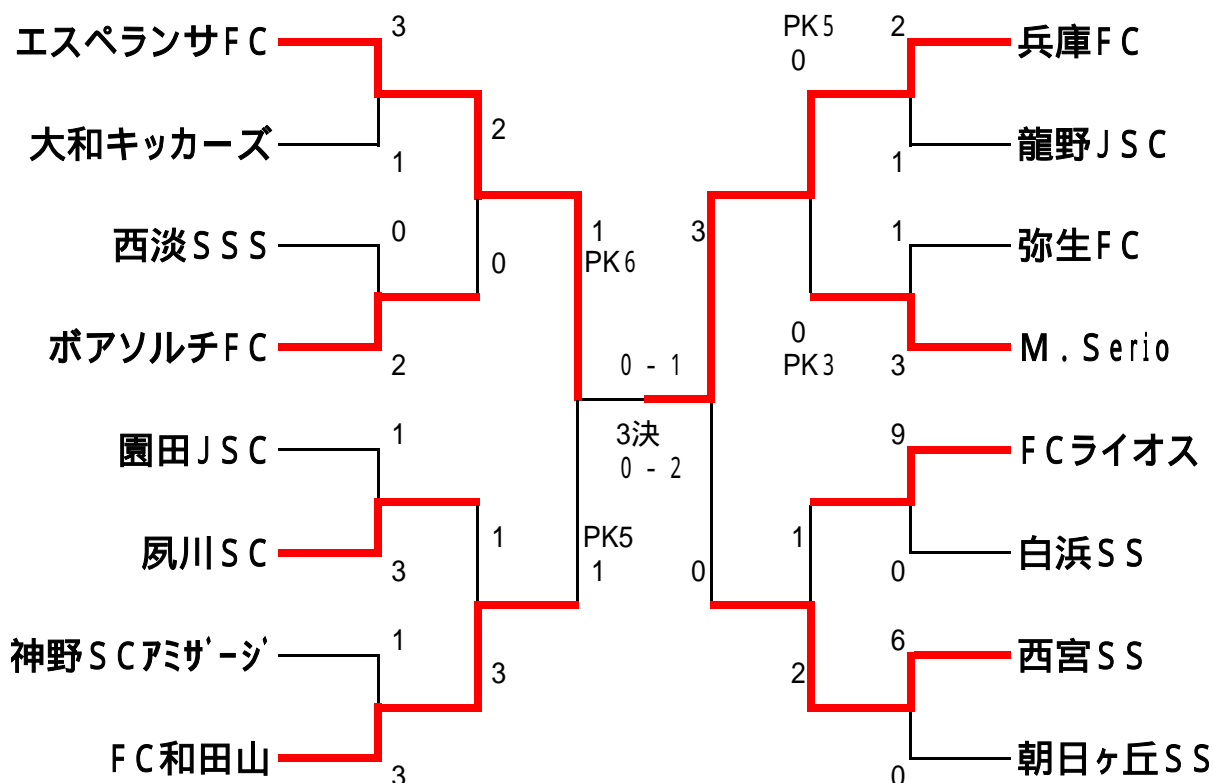


第15回関西少年サッカー大会 兵庫県大会

2009年3月14日(土)～15日(日) 三木防災G



一昨年11月、秋の県大会で優勝してから、約1年ぶりの公式戦。そして、兵庫FCの一番苦手な雨のグラウンド。強豪、龍野JSCとの試合では、いやな予感が的中した。試合開始直後、DFラインでボールを回しているときに、雨のピッチに足を滑らせ転倒。相手FWの選手にシュート決められ先制を許してしまった。開始20秒でのアクシデント。選手の顔には、緊張の色が…。基本技術のしっかりしている龍野のDFラインを崩すことができずに、前半を折り返した。後半、メンバーを入れ替え谷口の同点シュート・街の逆転ゴールで勝利をできた。続く2回戦は、試合内容は良くなったが、シュートの精度が悪くゴールを奪えない苦しい戦い。SERIOの選手の落ち着いた試合はこびとは対照的に単調な攻撃を繰り返しPK戦へ。キッカー5人は冷静にゴールを決め、勝利した。

15日、準決勝は強敵、西宮SS。ライオスに勝利し、チーム状態はかなりいい。個人技もしっかりしており、苦戦を強いられる状況。こんな危機的状況を救ってくれたのは、大会初日、出場機会がなかった工藤選手。彼の明るさ・ひたむきさが、チームの雰囲気を変えてくれた。強い相手に対する勝利への執着心も見せてくれ、本来の姿を取り戻してくれた。

昨年秋の4、6年生の県大会制覇。そして今回の5年生の優勝。日々のスクール活動の充実を物語る結果。しかし、次も勝てる保証はない。驕ることなく練習に取り組み、さらなレベルアップを目指して頑張ってくれることを願っています。この大会で、後半から出場し、苦しい試合の流れを変えてくれた谷口君。

2週間前にDFからFWへコンバートされ、FWとしての経験が少ないにもかかわらず、体を張って頑張った街君。この大会での経験が二人の人生を変えるきっかけになることを期待しています。

大会登録メンバーに入れなかった8名の選手が、スタンドから大きな声で声援を送ってくれました。苦しいときのあの声がチームに大きな力を与えてくれたことが、この優勝につながったことは言うまでもありません。

チームの総合力で勝ち取った優勝として大きな価値があります。本当にありがとうございました。

関西大会 3月28日～30日 大阪万博記念公園G

